

令和5年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：令和5年5月26日（金） 14時00分～14時50分

場所：仙台市戦災復興記念館 4階研修室

仙台市青葉区大町2丁目12番1号

年 次 大 会 次 第

1. 年次大会議事 14時～14時50分

(1) 開会宣言

(2) 報告

①令和4年度活動報告

②令和4年度会計報告

③監査報告

④令和5～6年度役員人事

⑤令和5年度活動計画（案）

⑥令和5年度会計予算（案）

⑦その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15時～17時 CPD 2h

演 題：放談 技術士応用理学部門 ～これからも欠かせない存在として～

講 師：守屋 資郎氏（(株)A.T.S.）

参加費：2,000円（資料代として）

3. 意見交換会 17時30分～20時00分

場所：全席個室居酒屋 はれた 仙台一番町

仙台市青葉区一番町3-11-7 BELLAビル2 5F (050-5287-7355)

会費： 6,000円

1. 令和4年度活動報告

①令和4年度応用理学部会年次大会および特別講演

年次大会 参加者：18名

日時：令和4年5月13日(金) 14時～14時50分

会場：日立システムズホール仙台 2階 研修室2

特別講演：15時～17時 参加者25名

講師：齋藤徳美氏(岩手大学名誉教授)

演題：頻発する豪雨災害への対策と課題

意見交換会：中止

②令和4年度研修会 参加者6名

講師：土屋範芳氏(東北大学大学院環境科学研究科 教授)

演題：「超臨界地熱資源の地質モデルと探査」

日時：令和4年7月22日(金) 15時～18時

会場：日立システムズホール仙台 2階 研修室2

参加費：1,000円(会員、非会員とも)

意見交換会：中止

③令和4年度現地見学会 参加者6名 1泊2日

テーマ：福島県井戸沢断層・湯ノ岳断層およびいわき市周辺の災害現場の巡検

日時：令和4年9月29日(金)～30日(金)

場所：福島県いわき市

案内者：齋藤 勝氏(那須野が原経済地質研究所)

新田 邦弘氏((株)地質基礎)

参加費：20,000円(会員、非会員とも、宿泊費、交通費等)

④役員会

第1回：令和4年4月22日(日立システムズホール仙台 会議室3)

第2回：令和4年5月13日(" 研修室2)

第3回：令和4年6月10日(仙台市福祉プラザ 第2研修室)

第4回：令和4年7月22日(日立システムズホール仙台 研修室2)

第5回：令和4年8月26日(" ")

第6回：令和4年10月21日(" ")

第7回：令和4年12月2日(日立システムズホール仙台 研修室2)

第8回：令和5年2月17日（日立システムズホール仙台 会議室2）
（計8回、太字は特別講演・技術サロン・研修会開催日）

⑤技術サロン

- 第1回 令和4年6月10日（金）18：00～20：00 参加者：10名
話題提供者：鈴木杏奈氏（東北大流体科学研究所 准教授、Waku2(ワクワ) as life 代表)
演 題：「資源に根ざした地域づくり～技術を越えた、みんなを巻き込むデザイン～」
話題提供者：伊藤健太郎氏（湯沢市ジオパーク推進協議会）
演 題：「ジオパークってなに？～地域に眠る宝物を知る～」
意見交換会：話題提供者2名＋参加者7名（会費5,500円）
- 第2回 令和4年8月26日（金）18：00～20：30 参加者：6名
話題提供者：齋藤 勝氏（那須野が原経済地質研究所）
演 題：「井戸沢断層に沿う地変とその現況－特に地震断層の学術的意義と保存に向けた社会的な取り組みについて－」
- 第3回 令和4年10月21日（金）18：00～20：30 参加者：7名
話題提供者：利部 哲氏（(株)パスク）
演 題：「マイクロプラスチックの国内外の現状」
話題提供者：菊地 真氏（東北ボーリング(株)）
演 題：「試験孔を用いた地下水調査(2)」
意見交換会：話題提供者2名＋参加者7名（会費1,000円）
- 第4回 令和4年12月2日（金）18：00～20：30 参加者：8名
話題提供者：栗山 恭直氏（山形大学理学部教授）
演 題：「プラスチックの分類とリサイクル」
意見交換会：参加者8名（会費2,000円）

2. 令和4年度会計報告

応用理学部会 令和4年度 会計決算(案)

	決 算	令和4年度予算	対 比
総収入	617,018	772,673	△ 155,655
総支出	428,309	605,000	△ 176,691
繰越金	188,709	167,673	21,036

【収入の部】

科 目	決 算	令和4年度予算	対 比	摘 要	
前年度繰越金	78,479	78,479	0		
本部交付金	229,194	199,194	△ 30,000	R3(49,194)、R4(180,000)	
寄附金	1,395	0	1,395	有志新年会残金	
小 計	309,068	277,673	31,395		
事業収入	年次大会	48,000	0	48,000	意見交換会(8名×6,000)
	見学会	120,000	300,000	△ 180,000	参加費(6名×20,000)
	技術サロン	61,500	60,000	1,500	意見交換会参加費
	研修会	6,000	135,000	△ 129,000	資料代(6名×1,000)
	地震防災WG活動	0		0	
雑収入	雑 収 入	8,450	0	8,450	会場キャンセル返金
借入金	短 期 借 入 金	64,000			現地見学会費用として
小 計	307,950	495,000	△ 187,050		
総収入	617,018	772,673	△ 155,655		

【支出の部】

科 目	決 算	令和4年度予算	対 比	摘 要	
事業費	年次大会	112,710	10,000	102,710	講師謝礼、意見交換会等
	見学会	176,624	330,000	△ 153,376	交通費・宿泊費・謝礼等
	技術サロン	94,855	90,000	4,855	4回開催、会場費、意見交換会
	研修会	30,710	140,000	△ 109,290	会場費、謝礼等
	地震防災WG活動	0	0	0	
	小 計	414,899	570,000	△ 155,101	
管理費	会 議 費	8,410	10,000	△ 1,590	役員会会場費
	通 信 費	5,000	15,000	△ 10,000	サーバー・ドメイン費
	事 務 雑 費	0	10,000	△ 10,000	
	予 備 費	0	0	0	
	そ の 他	0	0	0	
	小 計	13,410	35,000	△ 21,590	
総支出	428,309	605,000	△ 176,691		

決算、予算対比

決算-令和4年度予算

マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

令和4年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

令和5年8月27日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4. 令和 5-6 年度 応用理学部会役員名簿

役職	氏名	所属	備考
部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	(新任)
副部会長	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	
副部会長	菊地 真	東北ボーリング (株)	(新任) 広報(副)兼
代表幹事 ^{※1}	森 信博	土木地質(株)	総務
幹事	伊藤靖雄	(株)ダイヤコンサルタント	広報(主)
幹事	川口通世	(株)川口技術士事務所	福島
幹事	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタント	岩手
幹事	今野隆彦	今野技術士事務所	
幹事	桜田裕之	(株)自然科学調査事務所	秋田
監事 ^{※1}	新沼正彦	(株)測地コンサルシステム	幹事兼任(総務)

※1 技術士会東北本部内では幹事表記となる。

5 . 令和 5 年度 活動計画 (案)

① 令和 5 年度 年次大会および特別講演

日 時 : 令和 5 年 5 月 26 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場 所 : 仙台市戦災復興記念館 4 階研修室
仙台市青葉区大町 2 丁目 12 番 1 号

○年次大会 14 時～14 時 50 分

○特別講演 15 時～17 時

演 題 : 放談 技術士応用理学部門 ～これからも欠かせない存在として～

講 師 : 守屋 資郎氏 ((株)A.T.S.)

参加費 : 2,000 円 (資料代として)

○創立 20 周年事業

「公益社団法人日本技術士会東北本部応用理学部会 20 周年記念誌」配布

○意見交換会 会費 6,000 円

全席個室居酒屋 はれた 仙台一番町

仙台市青葉区一番町 3-11-7 BELLAビル 2 5F(050-5287-7355)

② 令和 5 年度研修会

○NPO 法人 防災・減災サポートセンターと「市民を対象とした防災講習会」として共催する。

テーマ : 災害考古学・防災・減災等

日 時 : 令和 5 年 7 月 7 日 (金) 14:30～16:30

場 所 : 仙台メディアテーク スタジオシアター

講 師 : 斎野裕彦氏 (日本災害・防災考古学会副会長)

参加費 : CPD 対象者のみ 1,000～2,000 円。その他参加者は無料。

意見交換会 : 開催予定 (6,000 円)

③ 令和 5 年度現地見学会

日 時 : 令和 5 年 9 月 29 日 (金)

テーマ : 湯沢ジオパーク

場 所 : 湯沢市 (院内石採石場跡、院内銀山異人館、小安峡大噴湯、
皆瀬地熱利用農産加工所、川原毛地獄等)

・日帰り開催。現地集合、現地解散。

案内者 : 伊藤健太郎氏 (湯沢市ジオパーク推進協議会)

ジオパークガイド

④ 役員会（太字は技術サロン開催予定日）

開催予定：4月21日(金)、5月26日(金)、**6月9日(金)**、7月7日(金)、
8月25日(金)、**10月27日(金)**、**12月8日(金)**、令和6年2
月2日(金)

⑤地震防災WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4回開催予定

第1回 令和5年6月9日(金) 18:00～20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室2

話題提供者：技術士第二次試験合格者 2名

日本工営株式会社 細野貴裕 氏

「Nダム現場報告」

株式会社ダイヤコンサルタント 小林卓矢 氏

「技術士として実践した工夫事項と改善事項」(仮)

第2回 令和5年8月25日(金) 18:00～20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室2

話題提供者：株式会社ダイヤコンサルタント 伊藤靖雄 氏

株式会社復建技術コンサルタント 二木茂樹 氏

「みやぎ海岸防災林から学ぶ

～再生のあゆみと樹木のこと～」

第3回 令和5年10月27日(金) 18:00～20:30

会場：日立システムズホール仙台 研修室2

話題提供者：樽石 静氏(基礎地盤コンサルタント)

菊地 真氏(東北ボーリング株式会社)

第4回 令和5年12月8日(金) 18:00～20:30

会場：仙台市戦災復興記念館 第1会議室(予定)

話題提供者：サイエンスデイ(7/16(日)開催)参加者から

株式会社ヨウタ 遠藤 真一 氏

*北海道層雲峡の銀河トンネル設計関連の話題

※意見交換会は、参加費2,000円とする。

6. 令和5年度 会計予算 (案)

応用理学部会 令和5年度 会計予算(案)

	令和5年度予算	令和4年度決算	対比
総収入	843,709	617,018	226,691
総支出	701,000	428,309	272,691
繰越金	142,709	188,709	△ 46,000

【収入の部】

科目	令和5年度予算	令和4年度決算	対比	摘要	
前年度繰越金	188,709	78,479	110,230		
本部交付金	100,000	229,194	△ 129,194	前年度分49,194含む	
寄附金	0	1,395	△ 1,395		
小計	288,709	309,068	△ 20,359		
事業収入	年次大会	180,000	48,000	132,000	年次大会30名、意見交換会20名
	見学会	90,000	120,000	△ 30,000	(15名×6,000)
	技術サロン	120,000	61,500	58,500	4回開催、会費2,000円
	研修会	155,000	6,000	149,000	参加35名、意見交換会20名
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	雑収入	10,000	8,450	1,550	会場費返金
借入金	短期借入金	0	64,000		
小計	555,000	307,950	247,050		
総収入	843,709	617,018	226,691		

【支出の部】

科目	令和5年度予算	令和4年度決算	対比	摘要	
事業費	年次大会	150,000	112,710	37,290	意見交換会20名、謝礼
	見学会	75,000	176,624	△ 101,624	異人館、昼食、交通費、謝礼
	技術サロン	90,000	94,855	△ 4,855	4回、会場費、会費1000円
	研修会	160,000	30,710	129,290	35名、意見交換会20名、謝礼
	地震防災WG活動	0	0	0	
	20周年事業費	120,000	0	120,000	印刷・製本費等
	小計	595,000	414,899	180,101	
管理費	会議費	12,000	8,410	3,590	役員会会場費
	通信費	10,000	5,000	5,000	HP管理費、郵送料ほか
	事務雑費	10,000	0	10,000	
	予備費	10,000	0	10,000	
	その他	64,000	0	64,000	短期借入金返金
	小計	106,000	13,410	92,590	
総支出	701,000	428,309	272,691		

対前年決算

令和5年度予算-令和4年度決算

マイナスは△で表示

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。

4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし部会員をもって構成し、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を召集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を報告する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の承認に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。